

クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」の旅

「明治維新の発祥の地 歴史ある山口の旅」として、9月20日(木)、クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」が山口県の下関港へ向けて鳥取港を出港しました。

これは、農協観光鳥取支店によるチャーター事業で、216名を乗せた客船は、11時に出港。

鳥取砂丘や、隠岐の島、国賀海岸の景観とクルーズ旅行の魅力を満喫しながら、山口県下関港へむかいました、

翌日、21日の朝9時に下関港へ到着したあと、山口ゆめ花博や秋芳洞などを訪問し、山口の魅力を満喫しました。

出港に先立ち行われたセレモニーでは、和太鼓の演奏や郷土芸能を披露され、セレモニー出演者や、賀露みどり保育園、賀露保育園の園児がお見送りしました。



- 「ぱしふいっくびいなす」の概要
- ・船社: 日本クルーズ客船(株)[大阪市]
 - ・総トン数: 26, 594トン、全長183m、幅25m
 - ・乗客数: 620名、客室数: 238室

■出港記念セレモニー



鳥取港振興会長(深澤市長)によるお見送りのあいさつ



主催者である(株)農協観光鳥取支店の中尾支店長 あいさつ



深澤会長から(株)農協観光鳥取支店の中尾支店長へ記念品贈呈



逢鷲太鼓連による勇壮な和太鼓演奏による見送り



賀露町伝承芸能保存会の皆様が「元唄貝殻節」を披露しお見送り



トリピーたちのゆるキャラも乗船客をお見送り

■お見送り

賀露みどり保育園、賀露保育園の園児たちは、紙風船を飛ばして、セレモニーの出演者や岸壁に集まった人たちとお見送りに花を添えました。

クルーズ客船からは紙テープが投げこまれ、岸壁からのお見送りに応えていました。



逢峰太鼓連の和太鼓演奏と、緑のハンカチを振ってのお見送り。



カラフルな紙テープが投げ込まれる中、紙風船を飛ばしてお見送り



各種の催しが行われるホールや客室、ダイニングルームなどを見学

■船内見学会

寄港時に実施したクルーズ客船内見学会には、141名の応募があり、その中から抽選で選ばれた40名が見学されました。